

令和元年度

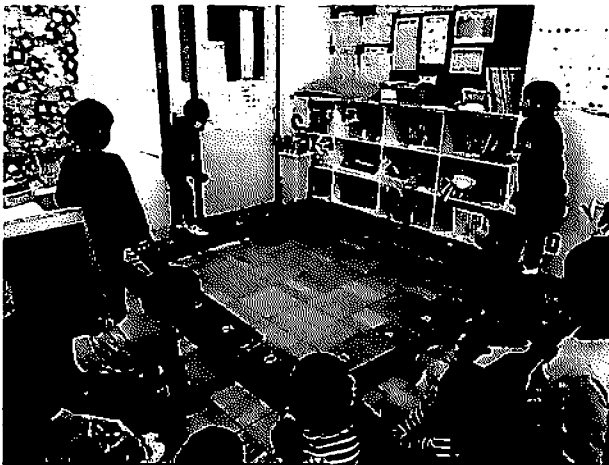
印旛地区教育研究集会

生活科分科会 提案資料

研究主題

思いや願いをもって活動し，表現できる児童の育成

～人との関わり合いを通して～



第5部会 四街道市立南小学校

宮本 美穂

福士 恭子

1 研究主題

思いや願いをもって活動し、表現できる児童の育成
～人との関わり合いを通して～

2 主題設定の理由

(1) 今日的な教育課題から

学習指導要領では「生きる力」を育むことの重要性が示されている。そのためには基礎的・基本的な知識や技能を発達段階に応じて徹底して習得させることを基盤として、思考力・判断力・表現力等を育むための学習活動が求められている。

千葉県では、平成31年度学校教育の指針（千葉県教育委員会）において、『人生を拓く「確かな学力」を育む』として、「自ら学び、思考し、表現する力」の育成を示している。このように、「思考力・表現力の育成」は、「知識基盤社会」の激しい社会変化に対応して、新しい時代を切り拓いていくために必要不可欠である。

(2) 本校の教育目標から

本校の学校教育目標は「夢をもち、ねばり強く活動する児童の育成」であり、今年度の教育の重点目標として、「子ども達の自尊感情を高めるため、良いところを積極的にほめていこう」を掲げている。29年度に実施した全国学力学習状況調査の「自分には良いところがありますか」という問いに対して、肯定的な回答が全国・県の平均を大きく下回っていたことにより、30年度の重点目標となり、今年度も継続している。

めざす児童像は「根気よく学ぶ子」「思いやりのある子」「たくましい子」である。自分の考えをもち、表現していくためには「ねばり強く」「根気よく」学ぶことが不可欠である。そして、互いの表現を認め合ったり高め合ったりするには、相手に対しての「思いやり」、相手を理解しようとする「心」がなくてはならない。そうした学級・学校の風土を築き、思考力・表現力を高めていくことが、学校教育目標の具現化につながるものと考えられる。さらに、様々な機会を通して、教員や友達から、認められたりほめられたりすることにより、少しずつでも自信をもち、自分の考えを表現することができるようにしていきたいと考えた。

(3) 児童の実態から

本校は、創立146年の四街道市の中でも歴史のある伝統校である。新興住宅地を抱え、児童数が年々増加しているが、落ち着いた環境にあり、学校に協力的な保護者が多い。また、地域との結び付きが強く、地域コーディネーターを中心に、地域ボランティアの方々が各学年の学習活動に積極的に参加してくださっている。生活科では、公園探検や昔遊びの会、ザリガニつりなど、様々な学習活動において、地域の方々と触れ合いながら学んでいる。

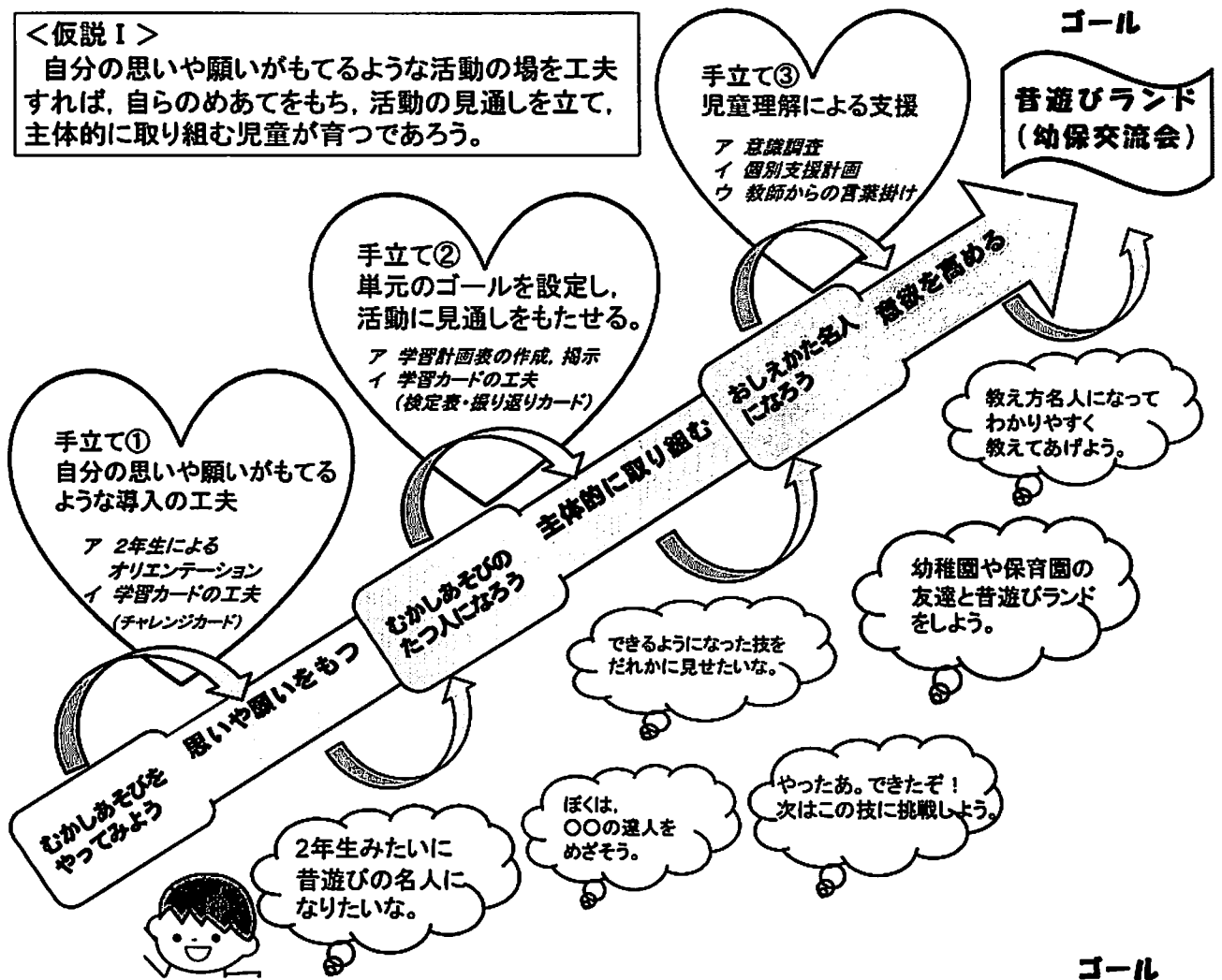
児童は全体的に穏やかで素直であり、与えられた課題には一生懸命に取り組むことができる。リーダー性を発揮しててきぱきと動くことができる児童もいるが、自分で考えて行動することに消極的な児童も多い。低学年においては、意欲に満ちあふれて入学してくるものの、ちょっとしたことで躓き、自信を無くしたり、失敗を恐れて新しいことに挑戦できなかつたりする児童も見られる。そこで、自分の思いや願いをもって活動し、人との関わり合いを通して、自信をつけ、進んで表現することができるようにしていきたいと考えた。

以上のことから、本研究主題を設定した。

3 研究仮説

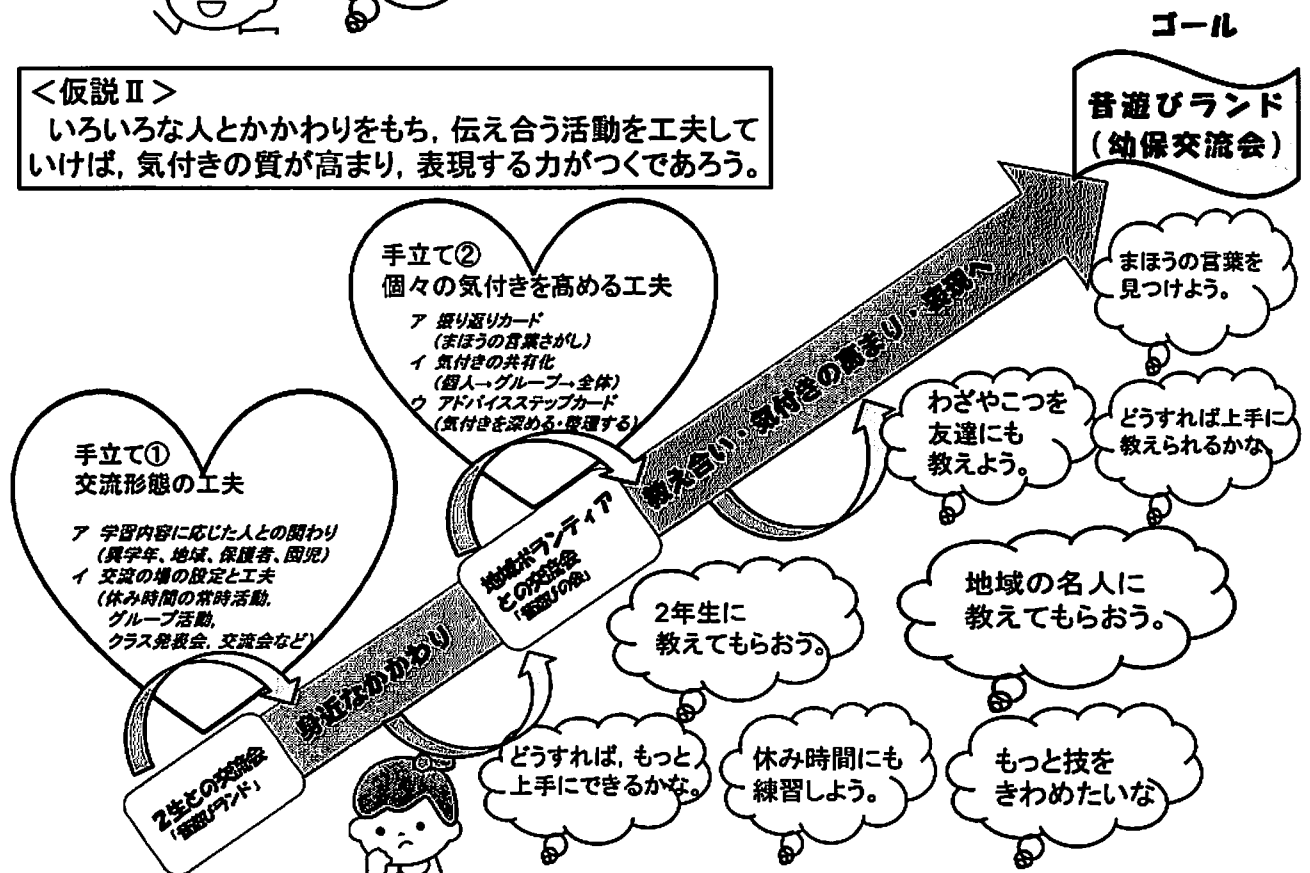
<仮説Ⅰ>

自分の思いや願いがもてるような活動の場を工夫すれば、自らのめあてをもち、活動の見通しを立て、主体的に取り組む児童が育つであろう。



<仮説Ⅱ>

いろいろな人とかかわりをもち、伝え合う活動を工夫していけば、気付きの質が高まり、表現する力がつくであろう。



4 実践例

1 単元名 むかしあそびをしよう

2 単元の目標

(1年生)

- ・昔遊びの遊び方について知り、いろいろな遊びに挑戦してみたいという意欲をもち、進んで地域の人や友達、異学年、幼稚園児・保育園児と関わろうとしている。
【生活への関心・意欲・態度】
- ・自分の興味をもった遊びについて気付いたことを表現し、友達や幼稚園児・保育園児に教えることができる。
【活動や体験についての思考・表現】
- ・昔遊びの楽しさや技・こつ・遊び方の工夫に気付いている。
- ・昔遊びに挑戦し、上手にできるようになった自分に気付いている。
【身近な環境や自分についての気付き】

(2年生)

- ・昔遊びを通して、進んで1年生と関わろうとしている。
【生活への関心・意欲・態度】
- ・昔遊びの楽しさや技・こつ・遊び方について、1年生に分かりやすく教えることができる。
【活動や体験についての思考・表現】
- ・1年生と交流することで、自分の成長に気付いている。
【身近な環境や自分についての気付き】

3 指導計画

* は、1年生、2年生共通部分

* 常時活動とは、昔遊びコーナーで、休み時間を使って昔遊びの技を教え合う活動。

(1年生)(15時間扱い)

小単元	時配	○主な学習活動 ★仮説との関連	◎評価規準【評価の観点】(評価方法)
むかしあそびをやってみよう	2	○2年生の昔遊びの紹介を見て、一緒に遊ぶ。 ★導入の工夫 (仮説1①) ★単元のゴールの設定と見通し (仮説1②) ★交流形態の工夫(仮説2①ア)	◎昔遊びを知り、2年生と進んで関わろうとしている。 【生活への関心・意欲・態度】 (行動観察・発言) ◎昔遊びの楽しさや遊び方、技、こつについて知ることができる。 【身近な環境や自分についての気付き】 (行動観察・発言)
	1	○2年生と一緒に昔遊びをして、楽しく遊んだことを振り返り、いろいろな昔遊びを経験し、極めてみたい昔遊びを決める。 ★学習カードの工夫 (仮説1①②イ)	◎自分が興味を持った昔遊びについて絵や文で表現している。 【活動や体験についての思考・表現】 (ワークシート) ◎昔遊びの楽しさに気付いている。 【身近な環境や自分についての気付き】 (ワークシート)
	2	○自分が極めてみたい昔遊びを選び上手にできるこつを考えながら遊ぶ。 ★検定表や学習カードの利用 (仮説1②イ)	◎基本の技ができるようになるためのこつを考えている。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・発言)

むかしあそびのたつ人になろう		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">* 常時活動</div> <p>★ 休み時間の交流(仮説 2 ①イ)</p> <p>2 ○ 地域の方々に、昔遊びのこつを教えてもらう。 ★ 交流形態の工夫 (仮説 2 ①ア)</p>	<p>◎ 自分たちの身近に昔遊びを教えてくれる人がいることに気付いている。 【身近な環境や自分についての気付き】 (行動観察・発言・振り返りカード)</p> <p>◎ 地域の方と関わりながら、進んで技の練習をしている。 【生活への関心・意欲・態度】 (行動観察・発言)</p> <p>◎ 昔遊びの楽しさや技・こつ・遊び方の工夫に気付いている。 【身近な環境や自分についての気付き】 (行動観察・発言・振り返りカード)</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">* 常時活動</div> <p>1 ○ グループ毎に教え合いながら遊ぶ。 ★ グループ活動での学び合い ★ まほうの言葉探し (仮説 2 ①イ②ア)</p> <p>1 ○ できるようになったことをクラスで発表し合い、よかったところや工夫するとよいところを話し合う。 ★ クラス発表会の設定 (仮説 2 ①イ) ★ 気付きを高める工夫 グループ→全体へ (仮説 2 ②イ)</p>	<p>◎ 上手にできるようになるこつを進んで探そうとしている。 【生活への関心・意欲・態度】 (行動観察・発言)</p> <p>◎ 昔遊びの技やこつを友達に伝えようとしている。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・発言)</p> <p>◎ 昔遊びの技やこつ、遊び方の工夫に気付いている。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・振り返りカード・発言)</p>
おしえかた名人になろう	1	○ 自分が選んだ昔遊びを園児に教えるために、どのような準備が必要なのかを考え、計画を立てる。	<p>◎ 進んで資料を作ったり、発表の練習をしたりしようとしている。 【生活への関心・意欲・態度】 (行動観察・発言)</p> <p>◎ 園児の立場になって、考えながら準備をしようとしている。 【生活への関心・意欲・態度】 (行動観察・発言)</p>
	1 11/15 本時	○ 「むかしあそびランド」のリハーサルをし、工夫するとよい点を話し合う。 ★ 個別支援計画 (仮説 1 ③イ) ★ 交流形態の工夫(仮説 2 ①イ)	<p>◎ 園児に伝わるような分かりやすい表現で昔遊びを教えたり、園児の立場に立って考えながらアドバイスをしたりしている。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・発言)</p>

	1	○リハーサルを元に発表の練習をする。 ★アドバイスステップカードの作成 (仮説2②ウ)	
	2	○「むかしあそびランド」に、幼稚園児・保育園児を招待し昔遊びを教えて一緒に遊ぶ。 ★交流形態の工夫 (仮説2①)	◎昔遊びの遊び方や技、こつについて、園児に分かるように教えることができる。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・発言)
	1	○振り返りをする。 ★振り返りカードの利用 (仮説2②ア)	◎幼稚園児や保育園児との関わりを通して自分の成長に気付いている。 【身近な環境や自分についての気付き】 (振り返りカード)

(2年生) (6時間扱い)

おしえかた名人になろう	3	○1年生に昔遊びを伝える計画を立て、準備をする。	○昔遊びの楽しさや技・こつ・遊び方について、1年生にわかるように説明資料を作っている。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・説明資料)
	2 4/6 本時	○1年生に昔遊びのこつを紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">* 常時活動</div>	○1年生と進んで関わろうとしている。 【生活への関心・意欲・態度】 (行動観察・発言) ○昔遊びの楽しさや技・こつ・遊び方について、1年生に分かりやすく教えている。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・発言)
	1	○振り返りをする。	○自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。 【身近な環境や自分についての気付き】 (行動観察・ワークシート・発言)

☆「むかしあそびをやってみよう」(実践1)

4 本時の指導 1年生(1/15) 2年生(4/6)

(1) 本時の目標

(1年生)

- ・昔遊びを知り、2年生と進んで関わろうとする。【生活への関心・意欲・態度】
- ・昔遊びの楽しさや遊び方、技、こつについて知ることができる。
【身近な環境や自分についての気付き】

(2年生)

- ・昔遊びを通して、進んで1年生と関わろうとする。【生活への関心・意欲・態度】
- ・昔遊びの楽しさや遊び方・技・こつについて、1年生に分かりやすく教えることができる。
【活動や体験についての思考・表現】
- ・1年生と交流することで、自分の成長に気付いている。
【身近な環境や自分についての気付き】

(2) 仮説との関わり

〈仮説1〉

自分の思いや願いがもてるような活動の場を工夫すれば、自らのめあてをもち、活動の見通しを立て、主体的に取り組む児童が育つであろう。

自分の思いや願いがもてるような活動の場の工夫として、2年生が昔遊びのオリエンテーションを行う。1年生には、自分たちに一番近い学年である2年生と交流することにより、「自分たちにもできるかもしれない。」「2年生みたいに昔遊びの名人になりたい」という気持ちをもたせたい。2年生には、1年生が昔遊びに興味をもち、昔遊びの楽しさが伝わるように紹介させていく。

昔遊びの体験では、8種目全部の昔遊びを体験させる。さらに、活動時間を十分に確保することで、それぞれの昔遊びの楽しさに気付かせ、自分が極めてみたい昔遊びを見つけていけるようにしたい。1年生には、遊びのコーナーを回る順番と、「またやってみたい」気持ちの度合いを星3つで表す簡単なカードを持たせる。後で振り返り、自ら極めてみたい昔遊びを決める時の参考にさせたい。

また、単元のゴールを幼保小交流会の2回目の「昔遊びの会」であることを提示することで、活動に見通しをもたせ、主体的に昔遊びに取り組みせていきたい。

〈仮説2〉

いろいろな人と関わりをもち、伝え合う活動を工夫していけば、気付きの質が高まり、表現する力がつくであろう。

本時では、1年生は、2年生とかかわりをもち昔遊びを体験していく。2年生には、遊び方や技、こつなどを1年生に分かる言葉で伝えさせていく。この時、子ども達ならではの、こつの表現を大切に、伝え合い活動をさせていきたい。さらに、2年生には、遊び方や技、こつだけではなく、1年前を振り返らせ、「ぼくたちも始めはできなかったんだ。」など1年生を励ます言葉やできたことをほめる言葉を入れて交流させていく。1年生は、2年生との関わりを通して、上手にできるようになるこつを聞き出していけるように声をかけていきたい。

振り返りの段階では、1年生は、できるようになったことや感じたことを発表させ、昔遊びには、上手にできるようになるこつがあることに気付かせていく。2年生は、1年生ができるようになったことやよいところを発表させ、自分自身の成長に気付かせていきたい。

(3) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) 評価 (◎) 仮説との関連★	資料
10	<p>1 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。</p> <p>○ 2年生が昔遊びのオリエンテーションをする。</p> <p>(1年生) ・ 昔遊びを知る。</p> <p>(2年生) ・ 昔遊びの紹介をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ こま ・ けん玉 ・ ヨーヨー ・ あやとり ・ お手玉 ・ おはじき ・ 紙でっぼう・ストローとんぼ </p>   	<p>(1年生) ○ どんな遊びがあるか聞かせる。 ★ 昔遊びのオリエンテーションを見て、活動の意欲を高めるようにする。(仮説1①ア)</p> <p>(2年生) ○ 昔遊びの楽しさが分かるように、全体の前で紹介させる。</p> <p>◎ 昔遊びの楽しさが分かるように発表している。 【活動や体験についての思考・表現】 (行動観察・発表)</p>	

- めあてを確認する。
(1年生)
- ・2年生と一緒に楽しく昔遊びをしよう。
- (2年生)
- ・1年生に分かりやすく昔遊びを紹介しよう。

- 活動のめあてを確認させる。
(T1)
- 本時のめあてをもつことができる。
【生活への関心・意欲・態度】
(行動観察)

むかしあそびをやってみよう。

- 30 2 昔遊びをする。
- (1年生)
 - 各コーナーに分かれ、昔遊びを体験する。
 - (2年生)
 - 各コーナーに分かれ、昔遊びを教える。

こま

- ・ひもをきつく巻く。
- ・ひもを巻く向きに気をつける。
- ・こまの持ち方
- ・ひもの引き方
- ・腕の振り方

けん玉

- ・けん玉の持ち方
- ・膝を使う。
- ・ひもをまっすぐに垂らす。
- ・まっすぐに持ち上げる。

ヨーヨー

- ・ヨーヨーの持ち方
- ・下に止まりそうになったら、すぐに手首を引きつける。

あやとり

- ・指にしっかりかける。
- ・とり方を覚える。

お手玉

- ・お手玉をよく見る。
- ・リズムよくする。

おはじき

- ・おはじきの間を指で切る。
- ・おはじきをぶつける。
- ・優しくはじく。

- 各コーナーに分かれて、昔遊びを体験させる。(T1)
- 昔遊びの道具の扱い方について確認し、安全に留意して活動するよう助言する。(T1)
- 音楽がなったら、片付けをして次の場所に移動するように声をかける。(T1)
- (1年生)
- 上手にできるこつを進んで探させる。
- ★昔遊びに参加できていない児童には声をかけ、一緒に遊びを体験する。(T2)
- 昔遊びを知り、2年生と進んで関わろうとしている。
【生活への関心・意欲・態度】
(行動観察・発言)

- (2年生)
- 昔遊びの楽しさが分かるように、紹介させる。
- 1年生に分かる言葉で説明したり、実演させたりする。
- それぞれの遊びの遊び方や技、こつを分かりやすく発表させる。
- 1年生のよいところを見つけさせる。
- 遊びの中に入って来ることのできない1年生に声をかけるように助言する。(T1)

説明資料

昔遊びの道具

こま
けん玉
ヨーヨー
あやとり
おはじき
紙でつぼう
新聞紙
ストローば

CD
デッキ

紙でっぼう

- ・紙の折り方
 - ・腕の振り方
- ストローとんぼ
- ・手の動かし方
 - ・とぼし方



右手と左手ではさんで、ひゅっとずらしてごらん。



指をびんと立てて。親指と人差し指で、上からとるよ。

5 3 学習を振り返り、できるようになったことや感じたことを発表し合う。

(1年生)

- ・こまのひもが、うまく巻けなかったけれど、2年生に教えてもらったからできるようになった。
- ・けん玉は、膝を使ってやるとうまくいくことがわかった。

◎昔遊びを通して、進んで1年生と関わろうとしている。

【生活への関心・意欲・態度】
(行動観察・発言)

◎昔遊びの楽しさや遊び方・技こつについて、1年生に分かりやすく教えている。

【活動や体験についての思考・表現】
(行動観察・発言)

2年生みたいに私もできるかな。



こうやって持とうね。ひざをつかうとうまく入るよ!

★活動を通して、できるようになったことや感じたことを発表させる。(T1: 仮説2②イ)

(1年生)

○それぞれの遊びでむずかしかったことや教えてもらってできるようになったことを発表させる。(T2)

◎昔遊びの楽しさや遊び方、技こつについて気付いている。

【身近な環境や自分についての気付き】
(行動観察・発言)

(2年生)

- ・あやとりのとり方を、早く覚えてすごいなと思った。
- ・こまの投げ方が上手だった。
- ・「昔遊びの達人」になるようにこれからたくさん練習してくださいね。
- ・次回は、今日やらなかった遊びを体験してください。
- ・2年生に、技やこつを聞きにきてください。

(2年生)

- 1年生の活動のよかったところに視点をあてて発表させる。
 - ★今後の取り組み方について、発表させる。(T1:仮説1②ア)
 - ◎1年生と交流することで、自分の成長に気付いている。
- 【身近な環境や自分についての気付き】
(行動観察・発言)

5 場の設定 (体育館)

あやとり

おはじき

こま

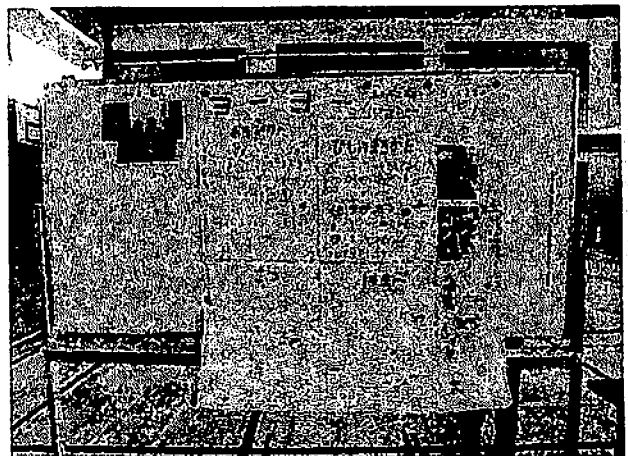
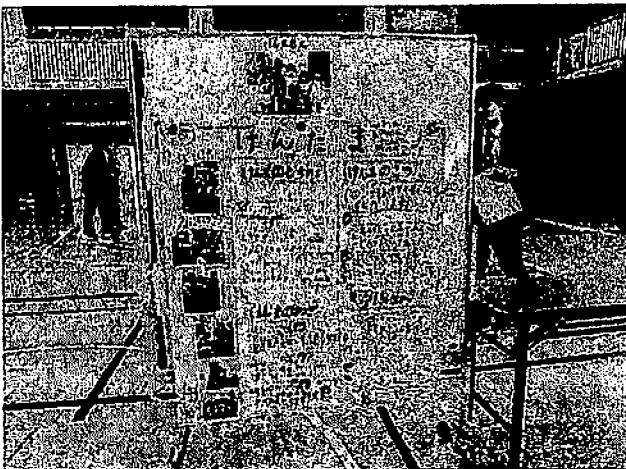
お手玉

ストロー
とんぼ

紙鉄砲

けん玉

ヨーヨー



☆「おしえかた名人になろう」(実践2)

4 本時の指導 (11/15)

(1) 本時の目標

- ・「むかしあそびランド」にむけて、進んで発表の練習をしようとしている。
【生活への関心・意欲・態度】
- ・園児に伝わるような分かりやすい表現で昔遊びを教えている。
- ・園児の立場に立って考えながら友達にアドバイスをしている。
【活動や体験についての思考・表現】

(2) 仮説とのかかわり

〈仮説1〉

自分の思いや願いがもてるような活動の場を工夫すれば、自らのめあてをもち、活動の見通しを立て、主体的に取り組む児童が育つであろう。

「むかしあそびランド」(保幼小交流会)を活動のゴールに置き、「おしえかた名人」になって幼稚園や保育園の友達に昔遊びを教え、楽しんでもらうという目標をもたせることにより、活動に主体的に取り組んでいけると考えた。また、「むかしあそびランド」までの学習計画表を教室に掲示して、活動に見通しをもたせると同時に、毎時間、次時の活動のめあてを書きこめる振り返りカードや昔遊びの技を極めるための検定表を使用させることにより、意欲を継続させ、主体的に取り組んでいけると考えた。

〈仮説2〉

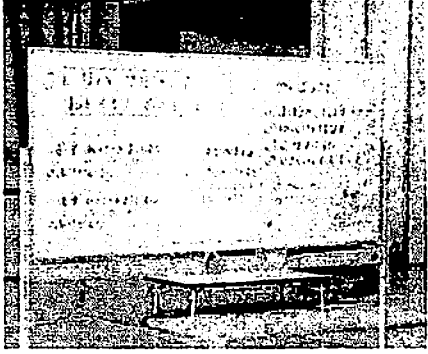


いろいろな人と関わりをもち、伝え合う活動を工夫していけば、気付きの質が高まり、表現する力がつくであろう。

本時では、達人を目指して練習してきた昔遊びを、それぞれのコーナーに分かれて幼保小交流会と同じ形で発表したり、教えたりする。発表する側と、お客になって教わる側とに前後半分かれて活動する。お客になる児童は、これまでに自分が練習してきた遊びグループ以外のコーナーに教えてもらいに行くことにより、園児の立場に立って考えたり、他のグループの発表や教え方を見聞きし、新たなよい表現に気付いたりすることができると思った。

遊びを体験した後には、発表の仕方や教え方のよい点や改善点を伝える時間をとり、園児にとってより分かりやすい表現を学び合えるようにする。

「むかしあそびの達人になろう」の学習では、練習する中で出てきた言葉の中から園児に教える時に分かりやすく役立つと考えた言葉を「まほうのことば」として振り返りカードに記入させてきた。さらに「まほうのことば」をみんなで共有できるように教室内に掲示板を作り、書き溜めていけるようにした。これらの「まほうのことば」を各遊びグループ毎にポスターにまとめ、当日は会場に掲示し、自由に見て使えるようにする。全員が「おしえかた名人」になり、自信をもって園児の前で表現していけるようにしたい。

(3) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) 評価 (◎) 仮説との関連★	資料
5	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあての確認</p> <p>1 前時までの活動を振り返り、本時の学習のめあてと流れを確認する。</p> 	<p>○めあてや活動が明確になるように、掲示して読ませる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T: 今日、みんなが考えた「まほうの言葉」を使って、分かりやすく教えられるといいですね。</p> </div> 	<p>掲示物</p>
10	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">前半発表・遊び体験</p> <p>2 各コーナーに分かれ、発表や昔遊び体験を行う。(前半) (教える側) ・できるようになった昔遊びの技を発表し、やり方や上手にできるコツを教える。 (お客) ・園児の立場になって昔遊びを教わる。</p> <p>【8つのコーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こま 3名 ・けん玉 4名 ・お手玉 4名 ・おはじき 4名 ・ヨーヨー 2名 ・紙でっぼう 2名 ・ストローとんぼ 5名 ・あやとり 2名 	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T: 「まほうの言葉」は各コーナーに貼ってあります。教える時のヒントにしましょう。</p> </div> <p>★教える側とお客さんとは分かれて、昔遊び体験を行わせることにより、園児に分かりやすい教え方やわざを学び合えるようにする。</p> <p>★前後半で役割を交代させて、全員が教える立場になれるようにする。</p> <p>★お客さん役の児童には、まだ上手にできない遊びを体験させて園児の気持ちに気付けるようにする。 (仮説2①)</p> <p>○昔遊びの道具の扱い方について確認し、安全に留意して活動するよう助言する。</p> <p>○一人でうまく発表できない児童には助言する。</p>	<p>説明資料 ポスター</p> <p>昔遊びの道具 こま けん玉 ヨーヨー 紙でっぼう 新聞紙 あやとり おてだま おはじき ストローとんぼ</p>



指をびんと立てるとひもがとれないよ。

◎昔遊びの会にむけて、進んで発表や教え方の練習をしようとしている。

【生活への関心・意欲・態度】
(行動観察・発表)

◎園児にわかりやすい言葉や態度で昔遊びを教えている。

【活動や体験についての思考・表現】
(行動観察・発表)

せまいところは、
どうしたらいいと思う？

ヒント、
小指を使うんだよ。



よくわからないな。

こう？

正解！大当たり。



手をぼんとあげてみて。
あと、ひざもまげるといいよ。

ひもは、はじめぎゅっと、
だんだんやさしく巻くんだ
よ。



T: 振り返りタイムでは、実際に教えてもらってよかった点やもっとこうした方がよいと思ったことをアドバイスしましょう。

グループごとの振り返り



5

3 各昔遊びのコーナーで振り返りをする。よいところやアドバイスを伝える。

★お客になって遊んでみてどうだったかアドバイスをする。
(仮説2②イ)

遊んでみてどうでしたか。
感想を教えてください。



◎園児の立場に立って考えながら友達にアドバイスをしている。

【活動や体験についての思考・表現】
(行動観察・発表)

こまの持ち方を見せるだけだったので、どの指ではさむか、もう少し詳しく教えてほしかったです。

後半発表・遊び体験

10 4 各コーナーに分かれ、発表や昔遊び体験を行う。(後半)

(教える側)

- ・できるようになった昔遊びの技を発表し、やり方や上手にできるコツを教える。

(お客)

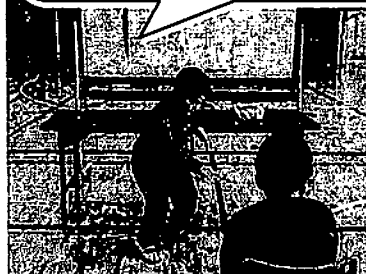
- ・園児の立場になって昔遊びを教わる。



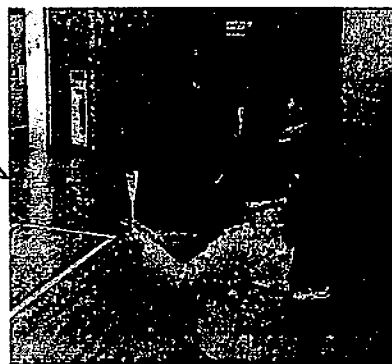
こうやって手と手を合わせてストローの下の方を持って。
手をまっすぐ前に押し出すと高くとぶよ。

*前半と同様

ヨーヨー連続8回をやります。
手は頭の上まで上げます。



なげるのは頭より下。
そう、じょうずじょうず。



グループごとの振り返り

- 5 各昔遊びのコーナーで振り返りをする。よいところやアドバイスを伝える。
(感想やアドバイス)
- ・とてもやさしく教えていた。
 - ・教え方が上手でよくわかった。
 - ・とても楽しく遊べた。
 - ・完ぺきだったよ。
 - ・声をもう少し大きく。
 - ・音がちゃんとなるようにもう少し練習した方がいい。(紙鉄砲)
 - ・幼稚園の子に向けてと危ないからとぼす向きを変えたほうがよい。(ストローとんぼ)
 - ・わざがとても上手にできていた。

クラス全体での振り返り

- 5 6 学習を振り返り、できるようになったことや感じたことを発表し合う。
- ・自分の成長について
 - ・友達の発表や教え方のよいところについて

T: 教え方名人はだれでしたか。どうしてか理由も教えてください。



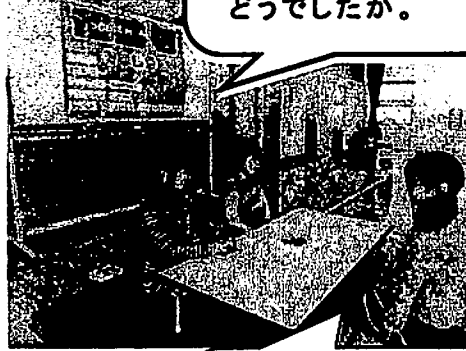
- 5 9 次時の活動へのめあてをもつ。

T: いよいよ昔遊びランドです。今日のリハーサルを生かして本番もがんばりましょう。



*前半と同様

発表や教え方はどうでしたか。



声も聞きやすかったし、やさしく教えていて、とてもよかったです。

T: 「まほうの言葉」を使って分かりやすく教えられましたか。

- ★活動を通して、できるようになったことや感じたことを振り返りカードに記入させ、発表させる。(仮説2②ア)
- ★教え方名人とその理由を発表させて、よい気付きを全体で共有できるようにする。(仮説2②イ)

振り返りカード

- ◎リハーサルを通して昔遊びの教え方が上手になった自分の成長に気付いている。
- 【身近な環境や自分についての気付き】(行動観察・発言・カード)

紙でっぼうグループの〇〇さんが、「ハートになったら成功」とほめてくれて嬉しかったです。

- ★次時の活動のめあてを書かせて発表させる。(仮説1②イ)
- 幼保小交流会にむけて意欲が高まるようにする。

5 児童の変容

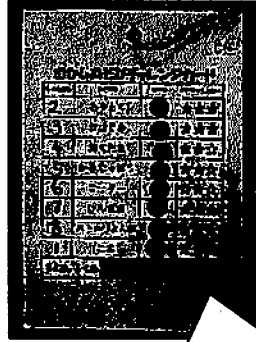
仮説1 自分の思いや願いがもてるような活動の場を工夫すれば、自らのめあてをもち、活動の見通しを立て、主体的に取り組む児童が育つであろう。

【手立て】
 ①自分の思いや願いをもてるような導入の工夫
 ②単元のゴールを設定し、活動に見通しをもたせる。
 ③児童理解による支援

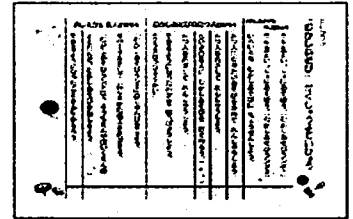
①ア 2年生によるオリエンテーション



①イ チャレンジカード



②ア 学習計画表の作成・掲示



2年生は上手だな。
2年生みたいにやってみたいな。

またやってみたい気持ちを☆3つで表現

主体的に取り組む

じかしまのたんぽぽ

思いや願いをもつ

じかしまを やってみよう

②イ 自分の思いや願いが明確になる学習カードの工夫

A児の学習カード

自分の成長の気付き
次時への意欲の高まり

じかしまを やってみよう!
 9月1日
 じかしまをやるおまじなことをしよう。

わたしは、けんたまを
れんしゅうをして、じかん
まで、よしたら、おまじな
と小まらかできました。
うれしかったです。つぎは、
ほかのじかまのように、
すてきなことをしよう。

じかしま
けんたま

けんたま のたんぽぽ!
 (11月2日) 9月1日

きょうは、うそくと、中ごろが
できました。はじめは、じかん
か、たけと、れんしゅうをしたら、
できました。うれしかったです。
おまじな。

けんたま、よめけん
がんばります!!

けんたま のたんぽぽ!
 (12月5日) 9月1日

きょうは、よめけんができた
した。うれしかったです。
よめけんできるか
わかんないけど
がんばります。

つぎは、よめけん
ががんばります!!

けんたま
よめけん

5 児童の変容

仮説2 いろいろな人と関わりをもち、伝え合う活動を工夫していけば、気付きの質が高まり、表現する力がつくであろう。

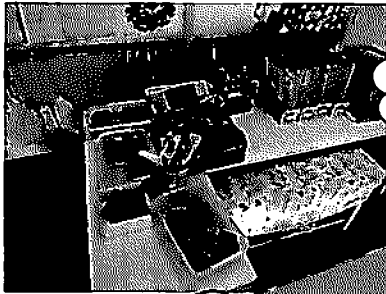
【手立て】

- ①交流形態の工夫
- ②個々の気付きを高める工夫

① イ 休み時間の交流（異学年）



① ア 学習内容に応じた人との関わり (地域ボランティアとの交流)

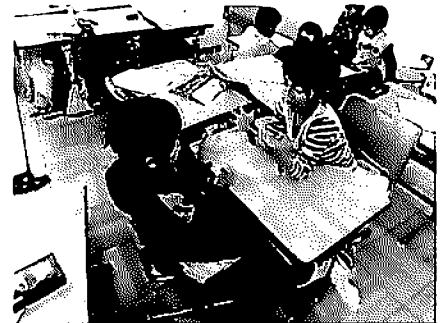


いつでも遊べる
教室環境づくり

地域ボランティアとの
交流「昔遊びの会」

教え合い

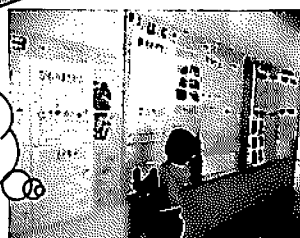
① イ 交流の場の設定 (グループ活動)



2年生との交流
「はかしばそびランド」

身近なかかわり

2年生が作った
ポスターを廊下
に掲示



B児の学習カードの変容

②ア 個々の気付きを書き留める学習カード（振り返りカード）

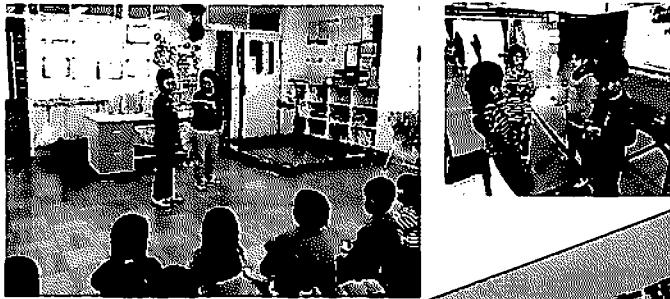
「はやくつと2つびらきやい音をならせたりする」経験からの気付き。

「かみでっぼう」は技がないと言って次時へのやる気を無くしていた。

友達と練習する中、いろいろな打ち方ができることに気付き、どの打ち方が一番いい音になるか考え始めた。

地域ボランティアさんと関わる中、「小さい紙の方がいい音になる」と紙の大きさにも着目し始めた。

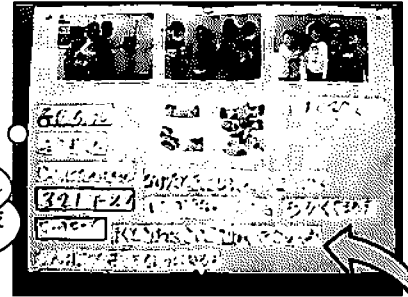
①イ 交流の場の設定 (クラス発表会・リハーサル)



むかしあそびランド

～保幼小交流会～

(ゴール)



気づきの質の高まり

自信

表現へ

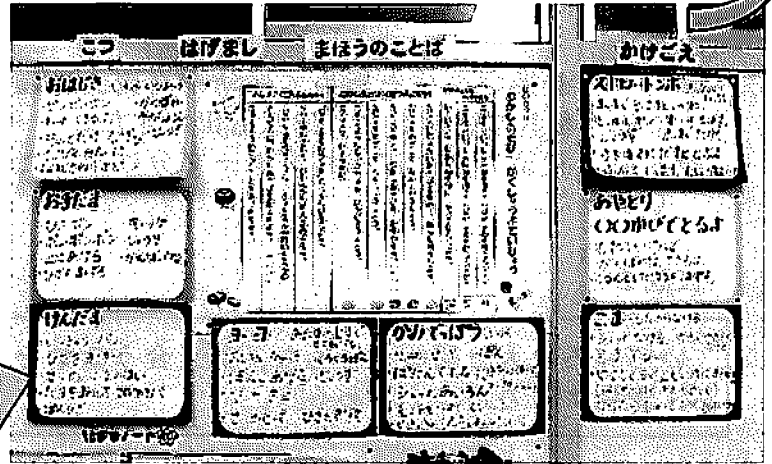
児童が見つけた「まほうのことば」を扉表しや賞状などの構面と遊び方やこづなどの技能面とで色分けし、ポスターにまとめた交流会で掲示

②ア 振り返りカード

園児に分かりやすく教えるための「まほうのことば」さがし

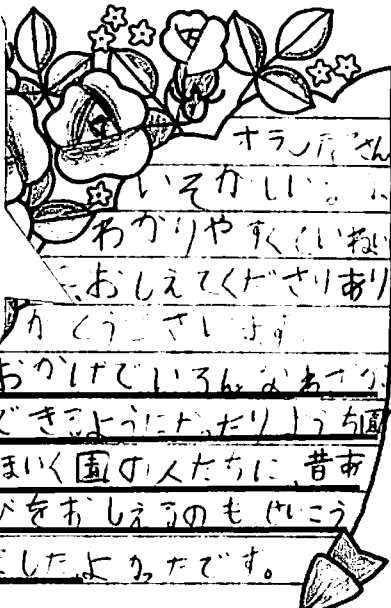


まくときはつよくまかないで、やさしくまくといは



人との関わりの中で、気づきを高め、自信をつけていく様子が回された。保幼小交流の「むかしあそびランド」では張り切って園児に教える姿が見られた。

B児が書いたボランティアさんへのお礼の手紙。感謝の気持ちと同時に、達成感を得られたことが書かれていた。



意識の変化 (B児)

	11/2	12/7	1/12
--	------	------	------

昔の遊びをやってみたいですか 3 → 5 → 5

昔の遊びを教えてあげたいですか 2 → 3 → 5

昔の遊びを教えられますか 1 → 2 → 5

<5段階評価>

とても思う: 5 思う: 4 どちらでもない: 3 あまり思わない: 2 思わない: 1

6 成果と課題

仮説 1

自分の思いや願いがもてるような活動の場を工夫すれば、自らのめあてをもち、活動の見通しを立て、主体的に取り組む児童が育つであろう。

〈成果〉

- 身近な2年生に昔遊びを教えてもらったことで、自分達も昔遊びをやってみたい、2年生みたいに上手になりたいという思いや願いをもつことができた。
- 昔遊びを教える2年生の姿が、幼保交流会での1年生の目標の姿となり、ゴールを目指すことができた。
- 単元計画表の掲示により、時間的な見通しや目的意識をもつことができ、自主的に練習をしたり、主体的に活動したりする姿が見られた。
- 学習カード（振り返りカードや検定表）の活用により、児童は意欲を継続したり、高めたりすることができた。また、自分の成長に気付くことができた。
- 意識調査や振り返りカードを見ることで、個々の思いや願いを知ることができ、個別支援に役立った。

〈課題〉

- 一つの昔遊びの技を極めて保幼小交流会に臨む学習の流れにしたが、練習の途中で他の種目に変更したい児童も出てきた。
- 児童の希望をもとに種目グループ分けをしたため、グループの人数に偏りが出てしまった。

仮説 2

いろいろな人と関わりをもち、伝え合う活動を工夫していけば、気付きの質が高まり、表現する力がつくであろう。

〈成果〉

- 3段階の単元構成の中、学習内容に応じた人々（異学年、級友、地域ボランティア、園児）と関わり、伝え合い活動をしたことにより、技やこつ、教え方などの気付きが高まり、表現力の向上につながった。
- 昔遊びの技をできるようにするため、教えるときに役立つ言葉を「まほうのことば」として振り返りカードに記入したり、みんなで学び合えるように教室に掲示したりした。「まほうのことば」の利用により、技を上達させたり、自信をもって園児に教えたりすることができた。
- 昔遊びコーナーを教室内や廊下に設定したことで、休み時間に自由に練習したり、教え合ったりして、技を上達させることができた。
- 2回、地域の名人と関わることにより、児童の成長を褒めてもらうことができ、児童の自信につながった。

〈課題〉

- 教えてもらいたいことと、教えていることに差があり、経験の中での気付きをどんな場面で表現したらよいか分からない児童がいた。「○○ができない時にはこんな言葉で教える」というように、子ども自身の気付きをそれぞれの場面や段階に応じて整理するとよかった。
(→後のアドバイssteps表 無自覚な気付きを自覚の気付きへ)
- 地域コーディネーターを通して、学習の目的や支援していただきたいことなどを、地域ボランティアの方々に周知していただく。

資料編

【まほうのことば】

◎2年生との交流会「むかしあそびランド」



投げたらひざを曲げて〜
キャッチ。そう上手。ポ
ン、ひざ、ポン、ひざ。
(お手玉)



ボタン、シュツ。さいごはここを手を入れて〜。
ばくばく、食べられちゃう。そのままボタンと
開いたら、はい出来上がり〜。(紙でつぼう)

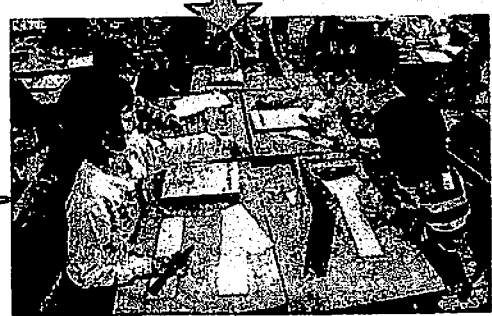
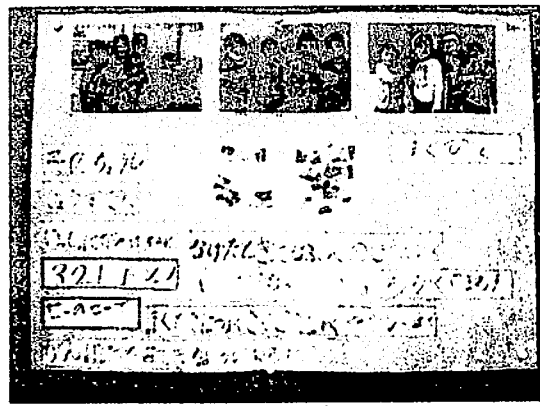
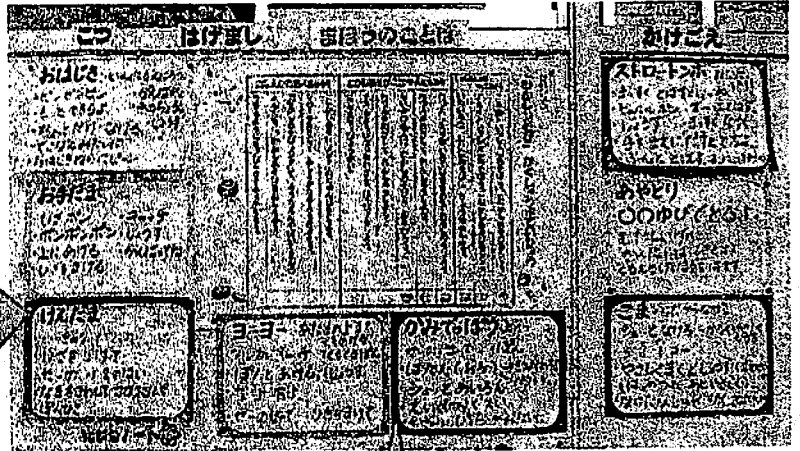
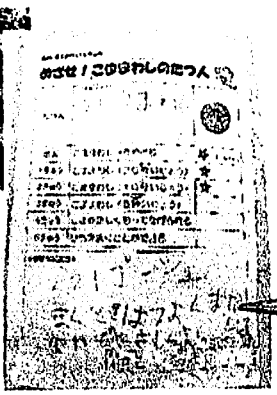
2年生が1年生に教える言葉の中に、年齢の近い子ども同士だからこそ通じ合う言葉があることに気付いた。



T: 2年生みたいに、みんなも幼稚園や保育園のお友達に分かりやすく教えられるといいですね。分かりやすく教えるための「まほうのことば」さがしをしていきましょう。

授業の終わりの活動の振り返りの中で、その時間に気付いた「まほうのことば」を個々の学習カードの裏面に書き溜めていかせた。

個々に気付いた「まほうのことば」を教室に掲示し、みんなで共有できるようにした。



グループの中で、「まほうのことば」を話し合い、交流会用にポスターを作成。

◎地域ボランティアさんとの昔遊びの会

◎園児とのむかしあそびランド

折り目をしっかりつけるといい音が
なります。



ここをね、ギュッとおるんだよ。



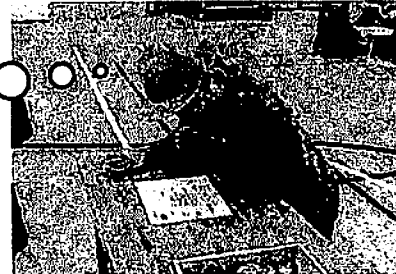
しっかりひもをまきつけますよ。



ギュッとひっぱりながら、強くまいてね。



投げる時に、どうやって言えば
よかったかな。
(アドバイスステップカード)



保幼小交流会である「むかしあそびランド」では、2年生や地域の方と交流した経験を
生かし、「まほうのことば」や「アドバイスステップカード」を活用しながら、幼稚園児
や保育園児に分かりやすく教える姿が多く見られた。

【アドバイスステップカード】

むかしあそびランドのリハーサルの際、「まほうのことば」の掲示物をうまく活用できず、その時々に必要なアドバイスを伝えられていない児童が見られた。自身で経験し上達した過程を頭や体では理解しているものの、どんな時にどのようなアドバイスをすればよいのか気付くための手立てが必要と感じた。そこで、子ども達と相談しながら「まほうのことば」を段階ごとに整理し、アドバイスステップカードとして、保幼小交流会で使えるようにした。

こま

こんなとき	アドバイス(まほうのことば)	
ひもをまけない	さいしょはつよく さいごはよわくやさしくまく	
こまをもてない	ゆびをそろえて	
こまがまわらない	したから、しゅっとなげる じぶんのほうにすぐひく	

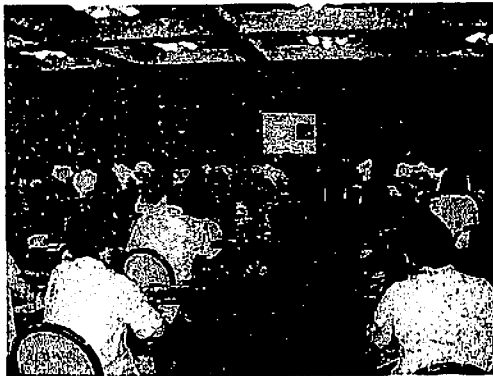
ストローとんぼ

こんなとき	アドバイス(まほうのことば)	
ストローをもつ	まんなかより下をもつ 手と手をあわせる	
とばす	むねのまえでかまえる 手と手をこする 手でおしだす	
たかくあがらない	手をまえにまっすぐだす ちからをぬいて、すーととばす	

【スタートカリキュラム】

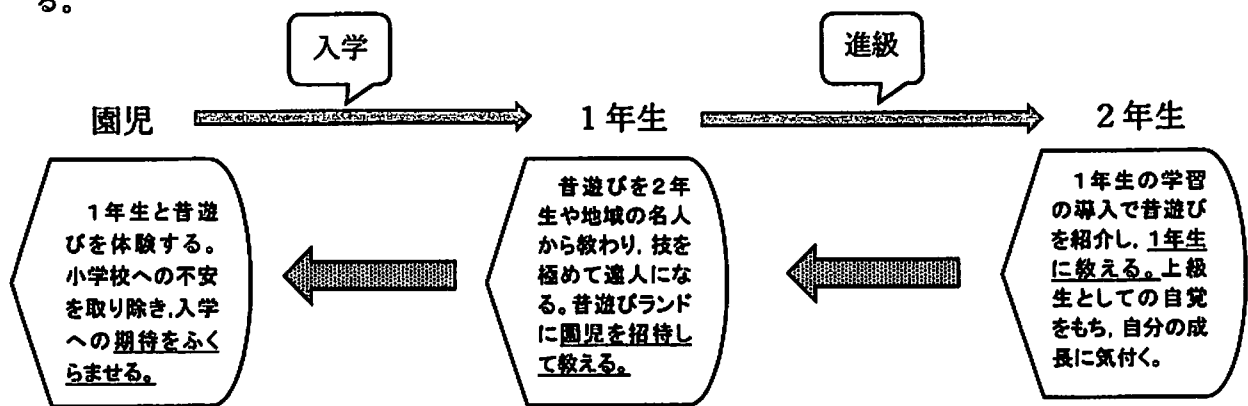
◎四街道市の取り組み

保幼小連携教育の在り方について理解を深めるとともに、互いに連携し発達段階に応じた指導ができることを目的とした「保幼小連携教育研修会」を行っている。教育要領・学習指導要領からの幼児教育と小学校教育の円滑な接続について講義を聞いたり、保育園・幼稚園・小学校の教諭や管理職のグループ別意見交換・情報交換を行ったりしている。

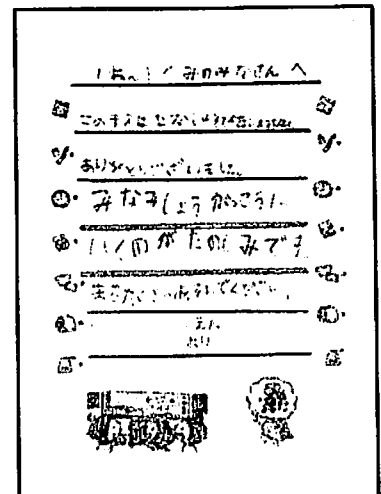


◎南小学校での取り組み

同一の地域コーディネーターを介して、隣の八木原小学校と連携し、近隣の4つの幼稚園・保育園、保育所を2園ずつ年毎に交代して学校へ招待し、保幼小交流会（むかしあそびランド）を行っている。本校に入学する児童の多くは、入学前にどちらかの小学校で生活科の昔遊びを体験していることになる。



保幼小交流会後に幼稚園から届いたお手紙
 「このまえはむかしあそびをおしえてくれて
 ありがとうございました。
 みなみしょうがっこうに
 いくのがたのしみです。
 またたくさんあそんでください。」



【学習カードと学習計画表】



おしえかた名人になろう	むかしあそびのたつ人になろう	むかしあそびを やってみよう
できるよつになつたことかをふりかえろう。 とまたあそびかかしてあそびをしよう。 リハーサルをして おしえかた名人をめよう。 「むかしあそびランド」のじゅんぴきしよう。 「むかしあそびランド」のじゅんぴきをしよう。 できるよつになつたわさを はっぴようしよう。 (クラスはっぴようかい)	たつ人をめざして れんしゅうしよう。 ちいきの名人に むかしあそびをおそわろう。 たつ人をめざして れんしゅうしよう。 たつ人になりたいあそびをきめて れんしゅうしよう。 たつ人をめざして れんしゅうしよう。 ちいきの名人に むかしあそびをおそわろう。 たつ人をめざして れんしゅうしよう。 できるよつになつたわさを はっぴようしよう。 (クラスはっぴようかい)	いろいろな むかしあそびに ちゅうせんとしよう。 二年生といっしょにあそぼう。(むかしあそびランド) 二年生といっしょにあそぼう。(むかしあそびランド) 二年生といっしょにあそぼう。(むかしあそびランド)

「むかしあそび」をしよう

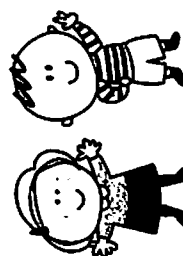
むかしあそび

学習カード①

むかしあそびをやってみよう!

むかしあそび

○むかしあそびをやってみたらかんどうをかきましょう。



勝く・わだした。

のたつ人をめざします!

おしえかた名人になろう!

なまえ()

○きょうのほっぴょうをふりかえろう(◎ ○ △)

①	まほうのことはをつかうことができた。	
②	ゆっくりとはなすことができた。	
③	よくできるこつをおしえることができた。	
④	やさしくおしえることができた。	

☆できるようになったこと・おもったこと☆

○きょうのおしえかた名人



さん
(りゅう)

○つぎのめあて(がんばること・気をつけること)

◎学習カード◎

のたつ人になろう!

(月 日) なまえ()

こんなわざができるようになったよ☆ こんなコツがわかったよ☆

～ じかいがんばりたいこと・できるようにになりたいこと ～

めざせ！あやとり のたつ人 

たつ人	(そのほかのわが)	
名人	ひとりあやとり (れんぞく)	
1きゆう	はしご	
2きゆう	ぱっちゃんぼうき	
3きゆう	コーヒーカップ	
4きゆう	ひもぬき	
5きゆう	うでぬき (二人わざ)	

★おぼろのことば★

名

めざせ！けんだま のたつ人 

たつ人	(そのほかのわが)	
名人	もしかめ10回 ^{かい} いじょう	
1きゆう	とめけん	
2きゆう	ろうぞく	
3きゆう	中ざら	
4きゆう	小ざら	
5きゆう	大ざら	

★おぼろのことば★

名

めざせ！おはじき のたつ人 

たつ人	(そのほかのわが)	
名人	れんぞく5かいとり	
1きゆう	人さしゆび (2こあて)	
2きゆう	おやゆびはじき (みぎ・1こ)	
3きゆう	おやゆびはじき (ひだり・1こ)	
4きゆう	人さしゆびはじき (1こあて)	
5きゆう	手でなげてひろげる	

★おぼろのことば★

名

めざせ！かみでっぽうのたつ人 

たつ人	(そのほかのわが)	
名人	2つびらきでいい直をならす	
1きゆう	2つびらきで音をならす	
2きゆう	1つびらきで音をならす	
3きゆう	お手本をみないでおる	
4きゆう	お手本をみながらおる	

★おぼろのことば★

名

めざせ！ **ストローとんぼ** のたつ人

たつ人	(そのほかの遊び)	
名人	たかくとばす (びょう)	
1きゆう	たかくとばす (7びょう)	
2きゆう	とばしたトンボをキャッチする	
3きゆう	たかくとばす (5びょう)	
4きゆう	たかくとばす (3びょう)	
5きゆう	正しくもち、まっすぐおしだす	
★おぼえようのこたけ★		

6日

めざせ！ **お手だま** のたつ人



たつ人	(そのほかの遊び)	
名人	りょう手で3こゆり (1かい)	
1きゆう	かた手で2こゆり (2かい)	
2きゆう	かた手で2こゆり (1かい)	
3きゆう	りょう手で2こゆり (20かい)	
4きゆう	りょう手で2こゆり (10かい)	
5きゆう	りょう手で2こゆり (3かい)	
★おぼえようのこたけ★		

6日

めざせ！ **ヨーヨー** のたつ人



たつ人	(そのほかの遊び)	
名人	れんぞく かい	
1きゆう	れんぞく5かい	
2きゆう	れんぞく3かい	
3きゆう	1回ずつキャッチ	
4きゆう	れんぞく2かい	
5きゆう	ひもをまさ、正しくもつ	
★おぼえようのこたけ★		

6日

めざせ！ **こままわし** のたつ人



たつ人	(そのほかの遊び)	
名人	こままわし→ちりとり	
1きゆう	こままわし (20秒 ^{20s} いじょう)	
2きゆう	こままわし (10秒 ^{10s} いじょう)	
3きゆう	こままわし (5秒 ^{5s} いじょう)	
4きゆう	こまを正しくもってなげられる	
5きゆう	ひもをまくことができる	
★おぼえようのこたけ★		

6日

【生活科単元一覧表】

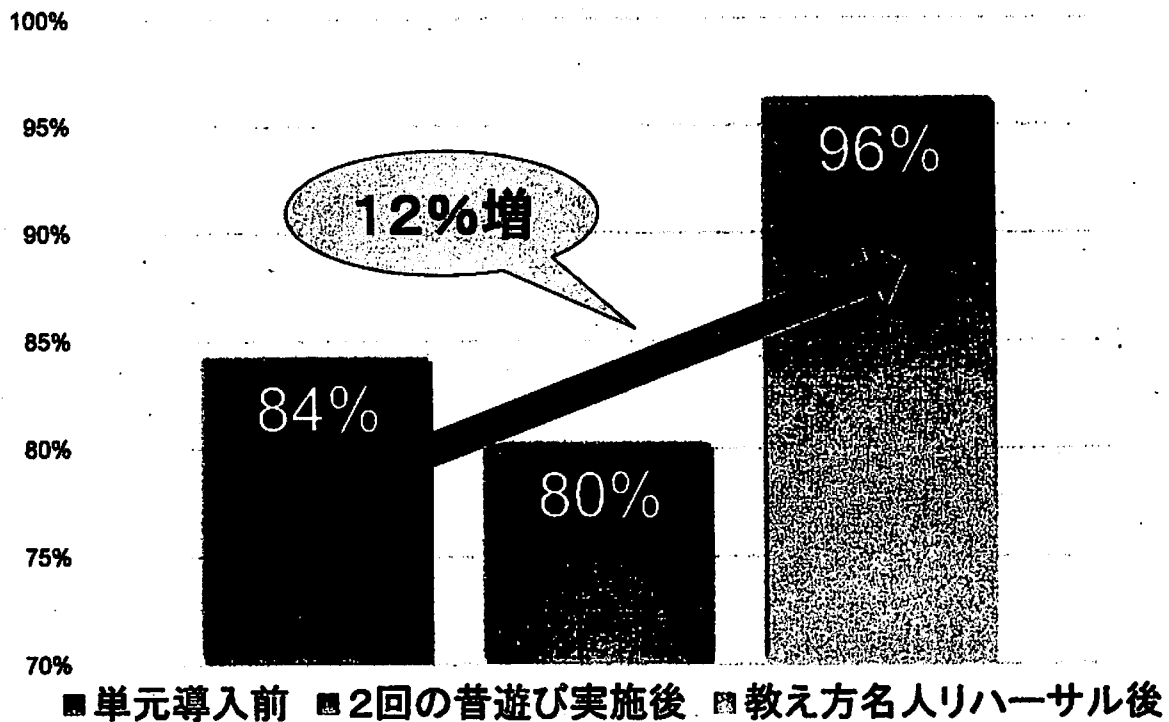
◎1年

学期	月	単元名	小単元名	授業時数
1学期	4月	みんななかよし	ともだちたくさんつくろう	4
			わたしのがっこうなどところ (2年生との学校探検)	4
			わたしのがっこうなどところ	4
			おいぬい はなやさいをそだてよう①	8
	5月	なつとなかよし	わたしのつうがくろ	6
	6月		はなやさいをそだてよう	3
	7月		おもしろいあそびがいっぱい	6
			いきものとなかよし (2年生がザリガニランドへようこそ)	1
			なつはたのしいことがいっぱい	1
	1学期時数合計			
2学期	9月	あきとなかよし	いきものとなかよし	9
			おいぬい はなやさいをそだてよう②	7
	10月		あきとふれあおう (公園探検・アンデルセン公園校外学習)	11
	11月	むかしあそびをしよう	つくろうあきのおくりもの	4
			むかしあそびをやってみよう (2年生のオリエンテーション)	3
	12月	ふゆとなかよし	むかしあそびの達人になろう (地域実習会)	6
			ふゆをみつけたよ	2
			かぞくといっしょにおしよがつ	2
2学期時数合計				44
3学期	1月	むかしあそびをしよう	かぞくといっしょにおしよがつ	1
			おしえ方名人になろう (地域実習会むかしあそびランド)	8
	2月	ふゆとなかよし	みんななぜの子	4
			はるのさがそう	3
	3月		もうすぐ2年生	9
3学期時数合計				23
年間時数合計				102

◎2年

学期	月	単元名	小単元名	授業時数
1学期	4月	春はっけん	2年生になったよ (1年生の学校探検案内) (草花あそび)	6
			花やさいをそだてよう	5
	5月	生きもの はっけん	はるの 町ではっけん	2
			生きてるってすごい! (地域交遊ザリガニ釣り) (1年生をザリガニランドへ招待)	16
			花やさいをそだてよう	2
	7月		はっけんかんだう夏休み	2
	1学期時数合計			
2学期	9月・10月	動物公園をたんけんしよう	動物公園をたんけんしよう	4
	9月	わたしの町 はっけん	町にははっけんが いっぱい	8
	10月		みんなのはっけんをあつめよう	12
	11月	むかしあそびをしよう	町の人につたえたい	7
	12月		はっけんくふうおも ちや作り	おもちやを作ってみよう おもちやのひみつはっけん
2学期時数合計				46
3学期	1月	自分 はっけん	はっけん自分のよいところ	3
			自分のことをもっと知りたいな	9
	2月		ようこそ自分 はっけん はっぴよう	8
	3月		ありがとうをとどけよう みらいにむかってはばたこう	4 2
3学期時数合計				26
年間時数合計				105

「昔遊びを教えてあげたいですか。」 (とてもそう思う, 思う)



「昔遊びを教えられますか。」 (とてもそう思う, 思う)

